

なら歴史芸術文化村

幼児向けアートプログラム

そざい あそび まなび

vol.1



なら歴史芸術文化村開村1周年記念

「そざい あそび まなび」展

会期：3月21日(火・祝)～4月16日(日) ※月曜休館
時間：午前10時～午後5時 (入室は午後4時30分まで)
場所：芸術文化体験棟1階 体験学習室 (そざいきち)
主催：なら歴史芸術文化村

幼児向けアートプログラムでは、「そざいきち」「てでかんがえる」の2つのプログラムを通し子どもたちの姿を追いかけてきました。子どもたちから生まれる遊び・疑問・発見を一緒に感じてきた1年の成果展です。子どもたちの作品とともに、各コーナーにミニ体験スペースを設けます。是非お子様と一緒にお願いします。



所在地 〒632-0032 奈良県天理市杣之内町 437-3

アクセス ※JR・近鉄天理駅より直行バス、直行デマンドシャトル運行 (有料)

※奈良交通バス「勾田」下車徒歩15分

開館時間 9:00～17:00 休館日/月曜 (祝日の場合は翌平日が休館)

※レストラン・貸館は9:00～20:00

にぎわい市場・伝統工芸館は9:00～18:00

※レストラン、にぎわい市場、伝統工芸館は月曜日も営業

※情報発信棟トイレを除き、12月28日～翌年1月4日は休館

TEL 0743-86-4420 (代表)

<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>



※奈良県版就学前教育プログラム
「はばたくなら」にもとづいて実施します。

そざい あそび まなび vol.1

なら歴史芸術文化村 幼児向けアートプログラム

なら歴史芸術文化村開村1周年記念 「そざい あそびまなび」展

会期：3月21日(火・祝)～4月16日(日)※月曜休館

時間：午前10時～午後5時(入室は午後4時30分まで)

場所：芸術文化体験棟1階 体験学習室(そざいきち)

「なら歴史芸術文化村 幼児向けアートプログラム」

奈良県では、心身ともに著しく発達する乳幼児期に着目し、子ども一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、「学ぶ力」「生きる力」の土台となる「自己肯定感・自尊感情」「他者への寛容なこころ」「健やかな身体」をはぐくんでいくこととしています。この考え方にに基づき、なら歴史芸術文化村では、イタリアの教育法レッジョ・エミリア・アプローチを参考に、アート体験を通して、「創造」と「共同(協同)」をはぐくみ、一人ひとりの発想と個性を尊重するプログラムを行います。

作品の完成を一番の目的にせず、子どもが何をしたいのか、どんな発見があるのか、創る過程を大切に、「生きる力」の土台づくりにつなげます。

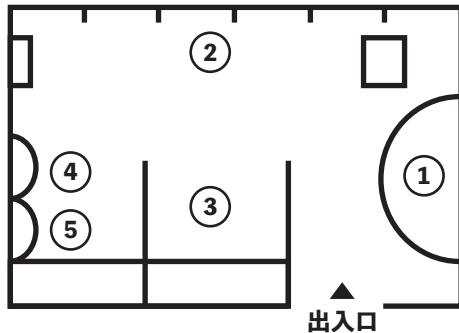
※奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」にもとづいて実施します。

「そざいきち」

0-6歳の未就学児を対象に、奈良ゆかりの素材や自然の素材、身近なものなどを使用し、素材との出会いや、あそびを楽しみます。

「てでかんがえる」

就学前の5-6歳の子どもたちが、奈良の文化や素材に触れ、みんなで相談し考えながら探究や創作活動を行います。



① 「つむ・ならべる・つながる」

② 「いろらぼ」

③ 「ひかりとかげ」

④ 「てでかんがえる 粘土」

⑤ 「てでかんがえる 和紙」

① 「つむ・ならべる・つながる」 2022年9月13日～12月27日

水道管などに使われる塩ビパイプを用意しました。「つむ」「ならべる」「つなぐ」ことで空間や高さを意識できるように環境も準備しました。大きさの違いを理解し、つなごうとする姿や、高く積み、長くつなぐことにチャレンジする様子や、崩れても何度も取り組む場面がありました。



② 「いろらぼ」 2022年6月14日～8月28日

赤・黄・緑・青…私たちの身近にある色をテーマに、土、葉っぱ、貝殻などいろいろな素材から色をつくってあそぶプログラムを開催しました。粉にしたり、つくった色を混ぜたり、色水や絵の具に変身させたり。日本で古くから絵の具に使われている「にかわ」にも触れてみたり。色についての研究をたくさん行いました。



③ 「ひかりとかげ」 2022年3月29日～5月29日

太陽の大きな光。プロジェクターの光。懐中電灯の小さな光。黒い影、色の影。大きな影、伸びる影。素材を組み合わせることで現れる影の形。目に見える形と、影で現れる形の違い。日常に存在する、どこにでもある、光と影がテーマのプログラムを開催しました。



④ 「てでかんがえる 粘土」 2022年10月15,16,22,23,29,30日

天理市の「奈良県瓦センター株式会社」で作られている粘土を使ってプログラムを行いました。色や硬さの変化に気付いたり、粘土が粉や泥に変化したりすることを楽しみながら、たくさんの発見や挑戦する姿がありました。

⑤ 「てでかんがえる 和紙」 2022年9月10,11,17,18,24,25日

吉野の「福西和紙本舗」で作られている宇陀紙を使ってプログラムを行いました。子どもたちは大人が想像する行動を超えて、見る・触る・匂う・試す、それぞれの方法で和紙を確かめ、発見したことを声に出して伝えてくれました。

